

私たちの教会の65年を迎えました。今日の箇所は、使徒パウロがエペソの教会のリーダーたちに語ったメッセージですが、ここには初代のパウロたちから現代の私たちまで、クリスチャンの変わることのない生き方とスピリットが表れています。この思いを共有してともに歩いていきましょう。



① 自分に与えられた務めにベストを尽くそう

“私は、ユダヤ人の陰謀によってこの身に降りかかる数々の試練の中で、謙遜の限りを尽くし、涙とともに主に仕えてきました。益になることは、公衆の前でも家々でも、余すところなくあなたがたに伝え、また教えてきました。ユダヤ人にもギリシア人にも、神に対する悔い改めと、私たちの主イエスに対する信仰を証ししてきたのです。”19-21

“私が自分の走るべき道りを走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音を証しする任務を全うできるなら、自分のいのちは少しも惜しいとは思いません。”24

② 困難があることは覚悟している

“私は知っています。私が去った後、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、容赦なく群れを荒らし回ります。また、あなたがた自身の中からも、いろいろと曲がったことを語って、弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こってくるでしょう。”29-

③ 自分自身と兄弟姉妹を愛して仕えよう

“あなたがたは自分自身と群れの全体に気を配りなさい。神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、聖霊はあなたがたを群れの監督にお立てになったのです。”

28

聖餐のみことばと祈り

○主の招きのことば

「主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。『これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。』夕食の後、杯をも同じようにして言われました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。』」1コリ11:23-25

○悔い改めの祈り

私たちは、神の愛と赦しを与えられた者であるにも関わらず、罪とあやまちに満ちている者です。「ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい」とみことばに勧められているように、今、私たちの内に示される罪を告白して祈りましょう。

○赦しのみことば

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」1ヨハ4:10-

○聖別の祈り